

3年生の梨畑見学③

本日、3年生の子ども達が紺野果樹園の梨畑見学に行きました。果樹園のご主人・紺野淳様より、この時期の梨畑での仕事「袋かけ」についての話をお伺いすることができました。

この時期の梨は、直径2、3センチメートルくらいの大きさになってます。しかし、小さいながらも形はりっぱな梨の形～(^.^) この時期に虫や病気、鳥などから実を守るために紙袋をかける作業を行います。それが「袋かけ」です。梨に直接触れると軸が折れてしまうので、袋の口を広げて実をすっぽりかぶせて、口の部分を針金で縛ります。1本の梨の木に5,000枚近くの袋をかけること、また、これからやってくる台風の雨や強風にも負けないように、一つ一つの実に丁寧に袋をかけることなど、「袋かけ」はたいへん苦労される作業だということを学んだ3年生でした。



〈どの実に袋をかけたほうがよいのか、どのように袋をかけたらよいのかを丁寧に教えてもらいました～(^.^)〉



〈実にそうと袋をかぶせてから、袋の口の針金をひねりながら軸に結びつけます～(^.^;)優しく丁寧に…、作業に集中～(^.^)〉



〈ひとり5枚の袋かけ体験～(^O^)どんどん作業に慣れていく3年生～(*^▽^*)今日の草刈り機は充電中～お休みしました〉